

#9:一人の新しい人の感覚の中で、召会生活を実行し、同じ事を語り、一つの働きを行なう 2020/1/6-1/12

Overview: パウロの時代、地中海沿岸の諸召会には、様々な国籍、種族、階級がいましたが、諸召会は一人の新しい人の感覚を持って召会生活を実行していました(I, II)。エペソ2:15の「一人の新しい人」を、ローマ15:6の「一つの口」と、Iコリント1:10の「同じ事を語り」と合わせて考える時、私たちはキリストを私たちの唯一のパーソンとする必要性を見ます(III)。主の回復にはいくつもの働きがあるべきではありません。すべての地域のすべての同労者は、唯一のからだのために、すなわち、宇宙的な一人の新しい人のために同じ一つの働きを行なうべきです(IV)。

I. コロサイ4:7~17には、一人の新しい人の啓示と一人の新しい人の感覚との実例があります:コロサイ4:15-16 ラオデキヤにいる兄弟たちに、またヌンパと彼の家の召会によろしく。そして、この手紙があなたがたの間で読まれたなら、ラオデキヤの召会でも読まれるようにしてください。またあなたがたも、ラオデキヤからの手紙を読んでください。

A. コロサイの聖徒たちも、パウロも、彼と共にいた人たちも、実際的に一人の新しい人の肢体であり、一人の新しい人の感覚を持っていました。

B. パウロが自分の手紙を読むようにと言った言葉は、ラオデキヤに在る召会とコロサイに在る召会の間に、何の違いもなかったことを証明します。彼の言葉は、交わり、一、調和、親密な接触を暗示します。

C. 国籍、種族、階級の違いがあつたにもかかわらず、地上には実際的に、キリスト・イエスの中で創造された一人の新しい人がいました。さまざまな都市に地方召会があつただけではなく、真に実際的に一人の新しい人がいました。

D. 「どの地方の召会も、他の召会から孤立することは恥ずべきことです。…これは新しい人の感覚と完全に相反します。そのような態度を保持するどの召会も、自己の感覚を持つだけであつて、新しい人全体の感覚を持っていません。この態度を固持する人たちは、新しい人をばらばらにし、粉碎します。…この態度を持っている人たちは、一人の新しい人の意識、感覚に欠けています」(コロサイLS#31)。 **月**

II. さまざまな国のすべての地方召会是一人の新しい人です。こういうわけで、彼らは新しい人の感覚の中で召会生活を実行する必要があります:

A. すべての召会は単に個々の地方召会ではなく、一人の新しい人です:コロサイ3:10-11 新しい人を着たのです。その新しい人は、それを創造された方のかたちにしたがって全き知識へと至るように、新しくされつつあるのです。その新しい人には、ギリシャ人とユダヤ人、割礼と無割礼、未開人、スクテヤ人、奴隷、自由人はあり得ません。キリストがすべてであり、すべての中におられるのです。

1. 私たちは、それぞれの地方召会が新しい人であると言うことはできません。そうではなく、地上のすべての地方召会が一人の新しい人です。

2. 一人の新しい人は、単に個々の地方や個々の召会の事柄ではなく、団体的に地上のすべての召会の事柄です。

B. 一人の新しい人が完全に出現したとき、私たちは諸召会の間の違いについて語りませんし、地方召会の行政区画や自治についても語りません:

1. その時、私たちはみなキリストを私たちのパーソンとし、キリストを生きています。こうして、キリストだけが私たちの間におり、キリストだけが現れます。

2. もし私たちがキリストを私たちのパーソンまた命とする

なら、自然に私たちすべては同じ事を語り、実行上私たちは一人の新しい人となります。 **火**

C. 諸地方召会是一人の新しい人ですから、私たちは自分の地方召会の中である事柄を決定する際に、全地の諸召会を考慮する必要があります。

Iテサロニケ2:14 兄弟たちよ、あなたがたは、ユダヤのキリスト・イエスにある神の諸召会に倣う者になりました…。
ローマ16:4 彼らは私の命のために、自らの首を差し出しました。彼らには私だけでなく、異邦人のすべての召会も感謝しています。

IIコリント11:28 日ごとに私の上へのしかかってくるたくさんの圧迫、すべての召会に対する心配事があります。

D. 諸召会は神聖な命において前進し、最終的にはみな完全に同じになるまでになります:

1. 「私たちは自分たちの高ぶりのゆえに、他の諸召会と同じでありたくないかもしれません。しかし、神聖なエコノミーによれば、私たちは同じであればあるほど、ますます栄光なのです。他の人たちに倣い、他の人たちに従い、霊の中で他の人たちと一であることは栄光です。私たちは、互いに学び、互いに調整され、互いから恵みを受けなければなりません」(神聖なエコノミー、#14)。

2. 「私は、すべての地方召会が同じように見える日が来ることを本当に期待しており、そしてその日が来る時、主が戻って来られると信じます」(ウイットネス・リー全集、1975-1976年、第2巻(下)、「召会(その霊の複写)」、#3)。

E. ここで主の回復の中にあるものは、キリスト以外の何ものでもありません。このキリストはすべてであり、すべての中におられます。このビジョンは私たちを、キリスト以外のすべてのものから救い出します。

F. 主は、全世界の彼の信者たちを起き上がらせ、ご自身を尋ね求めさせようとしています。そして私たちが彼を尋ね求めるとき、彼が求めているのは、一人の新しい人が諸地方召会で表現されることであるのを、私たちは見るでしょう。 **水**

III. 宇宙的な一人の新しい人としての召会のために、私たちはみな語る事柄において、キリストを私たちのパーソンとする必要があります。私たちは、エペソ2:15の「一人の新しい人」を、ローマ15:6の「一つの口」と、Iコリント1:10の「同じ事を語り」と合わせて考える必要があります:

ローマ15:5-6 どうか忍耐と励ましの神が…互いに対する同じ思いを、あなたがたに与えてくださいますように。それは、あなたがたが一つ思いをもって、一つの口で、私たちの主イエス・キリストの神また父に栄光を帰すためです。

Iコリント1:10 さて兄弟たちよ、私は、私たちの主イエス・キリストの御名を通して、あなたがたに懇願します。どうか、あなたがたがみな同じ事を語り、あなたがたの間に分裂がなく、同じ思いの中で、また同じ意見の中で調和されますように。

A. 一人の新しい人には、同じ事を語るための一つの口を持つ一つのパーソンがあります。

B. ただ一人の新しい人がいるだけであり、一人の新しい人には、ただ一つのパーソンがあるだけです。一人の新しい人は、一つの口で語り、同じ事を語ります。

C. 過去、あまりにも多くの口があつたのは、あまりにも多くのパーソンがあつたからです。 **木**

D. 「一つ思いをもって」と「一つの口で」(ローマ15:6)は、私たちは数が多くても、またすべての人が語っていても、みな「同じ事を語る(Iコリント1:10)」ことを意味します:

1. 召会は、キリストというただ一つのパーソンを持つ一人の新しい人であり、このパーソンが私たちの語ること

を支配します。こういうわけで、何であれ彼が語る事は、必ず「同じ事」です。

2. 私たちは語ろうとする時、基本的な問題を解決する必要があります。語るというこの事柄において、私がパースンとなっているのでしょうか、それともキリストがパースンとなっているのでしょうか？

3. 私たちが語ることに、自分自身をパースンとせず、キリストにパースンとさせていただくなら、一つの口があり、すべての人が同じ事を語ります。

E. 一人の新しい人の中にはただ一つのパースンがあり、ただこのパースンだけが語る自由を持っています。主イエスには、語る絶対的な自由があります。私たちの天然の人には、語る自由が絶対にありません。

F. 私たちは数が多く、多くの場所から来ていますが、みな一つの口を持っており、みな同じ事を語ります。これは、私たちみな一人の新しい人であり、ただ一つのパースンを持っているからです。

エペソ2:15 数々の規定から成っている戒めの律法を、彼の肉体の中で廃棄されたからです。それは、彼がご自身の中で、二つのものを一人の新しい人へと創造して、平和をつくるためであり。

3:17 またキリストが、信仰を通してあなたがたの心の中に、ご自身のホームを造ることができますように…。

Iコリント2:16 私たちは、キリストの思いを持っています。

G. もし私たちがキリストを私たちのパースン、また私たちの命とするなら、みな自然に同じ事を語るようになります。そのとき、私たちは実際と実行において一人の新しい人です。

IV. 主の回復にはいくつもの働きがあるべきではありません。すべての地域のすべての同労者は、唯一のからだのために、すなわち、宇宙的な一人の新しい人のために同じ一つの働きを行なうべきです：

Iコリント15:58 こういうわけで、私の愛する兄弟たちよ、堅く立って、動かされることなく、いつも主の働きに満ちあふれていなさい。あなたがたの労苦は主にあって無駄になることはない、知っているのですから。

16:10 さて、もしテモテが着いたなら、不安なくあなたがたと共に過ごせるように、見てやってください。なぜなら、彼は私と同じように、主の働きを行なっているからです。

A. 「私は、私たちが主の御前で、私たちの現状をよく考えることを望みます。私たちは回復のために、同じ一つの働きを行なっているのでしょうか？ もしそうでないなら、私たちは主に自由を与えて、私たちを調整していただくべきです」(長老訓練、第11巻：長老職と神の定められた道(3)、#12)。

B. 「主の回復における主の行動には、異なる働きがあるべきではなく、ただ一つの働きだけがあるべきです。私たちの状況は、これとは異なっています。私たちは無意識のうちに異なる働きを持っています。これは危険です」(長老訓練、第11巻：長老職と神の定められた道(3)、#12)。

C. 私たちは神と共に働く神の同労者として、ただ一つの働き、すなわち主の働きを行なうべきです：

1. パウロとペテロは異なる地域で働いていましたが、二つの働きを遂行したのではありません。そうではなく、彼らはただ一つの働きを持っていました。働き地域によって、諸召会を分裂させるべきではありません。

2. 働きに関して、新約には地理的な地域の考えはありません。地域的な味わいを持つことは、聖書的ではありません。なぜなら、キリストのからだのすべての肢体は、同じ味わいを持つべきであるからです。

D. 「あなたはどこにいても、何を行なっても、神の永遠のエコノミーの中心、実際、目標を建造しており、それが新エルサレムに到達するという確信を持たなければなりません」(聖書における神聖な啓示の高嶺にしたがった生活を生きる実行的な道、#6)。

E. 「今日、神はこの地上で別の人、すなわち新しい人を持ちたいのです。…主は地上で一人の新しい人を得たいのです。…ですから、私たちはみな立ち上がって、キリストを私たちの団体的なパースンとする必要があります。私たちがある決定をし、ある種の生活をしたいなら、自分だけで決定することはできません。そうではなく、私たちは新しい人の中で、新しい人と共に、キリストを私たちのパースンとしなければなりません。この要求は大きくて高いのです。このようにして新しい人は成長し、円熟して、私たちは一人の完全に成長した人に到達します」(ウイットネス・リー全集、1977年、第3巻(下)、「一つからだ、一つ霊、一人の新しい人」、#6)。

F. これは究極的な召会生活となります。すなわち、キリストをパースンとし、キリストを生かし出している宇宙的な新しい人です。これはこの時代を終わらせ、王国をもたらす、主の再来をもたらします。

Crucial Point(1): 科学の発展により一人の新しい人が出現するための時期が整ってきている。

一人の新しい人は主の再来のためである(I, II)

OL1: 国籍、種族、階級の違いがあつたにもかかわらず、地上には実際的に、キリスト・イエスの中で創造された一人の新しい人がいました。さまざまな都市に地方召会があつただけではなく、真に実際的に一人の新しい人がいました。

OL2: さまざまな国のすべての地方召会は一人の新しい人です。こういうわけで、彼らは新しい人の感覚の中で召会生活を実行する必要があります。

コロサイ人への手紙はローマからコロサイへ送られました。…ローマとコロサイの間の地理的な地域には、多くの種類の人々がいました。しかしながら、地中海に近いこの地域に、新しい人が存在するようになり、実際的に生活していました。旅は便利ではなかったのですが、諸召会の間には多くの行き来がありました。ここに私たちに対する学課があります。私たちはすべての文明の利器と交通手段を享受していますが、今日、諸召会の間には、パウロの時代にあつたほど多くの行き来がないかもしれません。さらに、私は、コロサイ人への手紙にあるような多くの個人的なあいさつを含んでいる手紙を、決して書いたことがないことを認めなければなりません。4:7~17 にどれほど多くの名が述べられているか、考えてみてください。テキコ、オネシモ、アリストアルコ、マルコ、バルナバ、ユスト、エパフラス、ルカ、デマス、ヌンパ、アルキポです。パウロはまた、ラオデキヤにいる兄弟たち、ヌンバの家の召会、すなわちラオデキヤ人の召会にも言及しています…。これらすべての名は、パウロに新しい人の意識、感覚があつたことを示しています。

現代の発明のゆえに、交通と通信手段が大いに進歩しました。…人々を一緒にするために、これらすべてのものがあります。これらの現代の発明は地球全体を凝縮しました[それは一人の新しい人を成就するという神の定められた御旨のためです]。

[新しい人のビジョンは]、私たちを一の中に保つだけでなく、私たちをキリスト以外のすべてのものから救い出し、救います。私たちには、このようなビジョンが必要です。

この地上にあるあらゆるものは、新しい人の成就のためです。今日、世界の政治、科学の発明、現代の交通と通

信手段、言語への私たちの理解と共に、世界は小さな範囲へと凝縮されました。新しい人が完成されるための妨げはほとんどありません。今日、新しい人が出現するためにあらゆるものの機は熟し、用意され、準備ができています。私たちはみな自分がどこにいるかを見なければなりません。私たちは終わりの時代におり、これは最高の黄金時代です。これは主の回復のための適切な時です。

適用: 青年在職・大学院生編

あなたは今が終わりの時代であり、キリストの再来が非常に近い時代であることを理解してください。科学が高嶺に達して通信や交通手段の便利さのゆえに国境のボーダレスの時代となり、あらゆるニュースや状況はすぐに全世界に流れます。これらの便利さはすべて一人の新しい人の実現のためです。

他方、オゾン層の破壊による地球温暖化に伴う気候の変化に人類は対応できていません。また先進国G7だけでは国際的なルールを決定することができなくなり、全世界は混乱しています。科学の発展は富を生み出していますが、他方気候の変動のゆえに、2018年の調査によれば飢餓人口は8億2,160万人(9人に1人)に至っています。この混乱と矛盾は、世界が徐々に人が住むには適さなくなる方向に進んでいることを示しています。この事ですら主の再来をもたらすためであり、一人の新しい人を生み出すためです。

あなたはおそらくラスト・ランナーであり、あなたが生きている間に主が来られる可能性が高いです。現在の状況をよく考え、視界が広げられ、主の再来のために準備し、勝利者の道を取ることができますように。

勝利者の道(1): 毎朝マナを集めることと、職場や研究室の現実の生活で、キリストを良き地として経験する:

ビジネス・ライフなどの現実の生活は、良き地の産物を経験し享受する機会に満ちています。キリストを知恵、洞察力、推進力、突破力、まとめる力、急激な変化に対応する力、人の能力を引き出す力、相乗効果をもたらす力、忍耐力、自制、喜びなどとして経験することは、現実の生活においてです。毎朝マナを集めた後、要求に満ちたビジネス・ライフにおいて、キリストの様々な面を獲得するために、勇んで会社に行ってください。

勝利者の道(2): 毎週、福音と牧養のために出て行く:

残業を制限して、毎週、福音と牧養のために2時間ずつ聖別して、兄弟姉妹と共に出て行ってください。

祈り:「おお主イエスよ、あなたを愛し、あなたの再来を慕います。今は終わりの時代であることを認識して、勝利者になる道を取らせてください。そのために毎朝復興した後、現実の職場の生活で、キリストを良き地の様々な産物として経験します。現実の生活は、私がすべてを含むキリストを経験するという積極的な目的のためにあります。このビジョンをもって、私は喜んで毎日会社に行きます。また、時を贖って毎週、兄弟姉妹と福音と牧養のために出て行きます。主よ、私を勝利者の一人にしてください。」

Crucial Point(2): 地方召会は一人的な新しい人全体ではなく、その一部分である。したがって一人の新しい人の感覚を持って召会生活を実行しなければならない(II C-F, III)

OL1:私たちは自分たちの高ぶりのゆえに、他の諸召会と同じでありたくないかもしれません。しかし、神聖なエコノミーによれば、私たちは同じであればあるほど、ますます栄光なのです。他の人たちに倣い、他の人たちに従い、霊の中で他の人たちと一であることは栄光です。私たちは、互いに学び、互いに調整され、互いから恵みを受けなければなりません。

OL2:宇宙的な一人の新しい人としての召会のために、私たちはみな語る事柄において、キリストを私たちのパースンとする必要があります。私たちは、エペソ2:15の「一人の新しい人」を、ローマ15:6の「一つの口」と、Iコリント1:10の「同じ事を語り」と合わせて考える必要があります。

主の回復は今日、普通のクリスチャンの働きではありません。むしろ、それは特別なものであり、普通のものではありません。これは宇宙の時代です。人の文化は川から海へ、海から大洋へ、大洋から宇宙にきました。この後、人の文化はどこに行くのでしょうか？ この宇宙の時代は最後の時代です。この最後の時代に、主は新しい人を生み出そうとしておられます。主は今日、とても多くの国々で全世界の彼の信者たちを起き上がらせ、ご自身を尋ね求めさせようとしておられます。私たちが彼を尋ね求めるとき、彼が求めているのは、そのような新しい人であるのを私たちは見るようになるでしょう。

私たちがみな新しい人のビジョンを見て、すべての召会が単に個々の地方召会ではなく、一人の新しい人であることを見たなら、進んで次のように言うでしょう、「主よ、私はすべての聖徒たちと共に、一人の新しい人として恵みとあわれみを受け、あなたを私たちすべての中でパースンとしたいのです」。あなたがこのようにキリストをこの団体の新しい人のパースンとするなら、あなたの生活の中で何も自分自身で決定しないでください。…あなたは新しい人の一部分であるので、あなたの決定と生活はあなたのものであるべきではありません。それらは団体の新しい人の決定と生活であるべきです。

召会は、キリストをパースンとする一人の新しい人です。兄弟姉妹が何かを語ろうとするときはいつも、自分をパースンとしません。そうではなく、彼らはキリストにパースンとなっていていただきます。あなたが語る時、キリストにあなたのパースンとなっていていただき、私が語る時、キリストに私のパースンとなっていていただきます。最終的に、すべての人が同じ事を語ります。

聖書を考えてください。旧約と新約は六十六巻の書を含んでおり、四十人以上の異なる著者によって、多くの異なる場所で、千五百年から千六百年の期間にわたって書かれました。最初の書である創世記は、紀元前1500年ごろに書かれ、最後の書である啓示録は、紀元後90年以後に書かれました。彼らはみな一つの口を持っているのでしょうか？ 彼らはみな同じ事を語っているのでしょうか？ 全聖書は、長い期間にわたって多くの異なる場所で多くの異なる人々によって書かれたのですが、一つの口を持ち、同じ事を語っています。…私たちは数が多く、多くの場所から来ていますが、みな一つの口を持っており、みな同じ事を語ります。

適用: 新人編

新人の皆さんは召会が宇宙的な一人の新しい人であり、地方召会はその一部であることを理解してください。神戸に在る召会は、昨年アメリカ、台湾、中国、韓国、イスラエル、フィリピン、インド、ニュージーランドの諸召会を訪問し、特別集会やブレンディングをエンジョイしました。また海外の様々な国々の召会の訪問を毎月受け入れました。このようなブレンディングは、一人の新しい人の感覚を持ち、一つの事を語ることで私たちを大いに助けています。地方召会は、国内の他の諸召会だけでなく、海外の諸召会との交わりを維持すべきです。年末にアメリカのアナハイムの申命記の結晶の学びに参加した姉妹は、神戸に在る召会の正月の集会で、申命記の結晶化の学びを交わりました。私たちは全地で同じことを交わります。

地方召会が祝福される秘訣は、全地の諸召会に、一人の新しい人に開かれていることです。あなたはこのような認識を持って、自分の小さな地区の兄弟姉妹と建造され、同時に他の地区の兄弟姉妹との交わりを持ち、一を保ち、自分の個人的な世界から出て来ることを学んでください。そうすればあなたの地区は祝福され、あなたの属する地方召会も祝福され、あなた個人も祝福されるでしょう。

祈り:「おお主イエスよ、地方召会は一人の新しい人全体ではなく、一人の新しい人の一部分です。ですから私たちは全地の交わりに開かれているべきです。年に7回ある国際的な集会の流れについていき、同じことを語ります。また地方召会の中の他の地区の兄弟姉妹、特に燃えている兄弟姉妹と良く交わり、私も霊の中で燃えて主に仕えることができますように。一人の新しい人の感覚を持って召会生活を実行すれば、私たちは前進することができます」。

Crucial Point(3):召会は、キリストというただ一つのパーソンを持つ一人の新しい人であり、このパーソンが私たちの語ることを支配する(Ⅲ D-F,Ⅳ)

OL1:私たちは数が多く、多くの場所から来ていますが、みな一つの口を持っており、みな同じ事を語ります。これは、私たちみな一人の新しい人であり、ただ一つのパーソンを持っているからです。

OL2:私たちはみな立ち上がって、キリストを私たちの団体的なパーソンとする必要があります。私たちがある決定をし、ある種の生活をしたくないなら、自分だけで決定することはできません。そうではなく、私たちは新しい人の中で、新しい人と共に、キリストを私たちのパーソンとしなければなりません。

過去、あなたがたにあまりにも多くの口があったのは、あまりにも多くのパーソンがあったからです。多くのパーソンがあるとき、多くの考えがあります。多くの考えがあるとき、多くの意見があります。しかし、主に感謝します。今ここには一つの口があり、一つのパーソンがあります。ここには警官はいません。私たち各自は絶対に自由ですが、もう一方で、あなたの内側には別のパーソンがいるので、あなたには絶対に自由がありません。あなたは語ろうとするかもしれませんが、何かが内側からあなたを「つねり」、何も言わないようにあなたに告げます。あなたが言うことができるのはただ、「主に感謝します！」だけです。あなたが再び語りたくなるとき、主が再びあなたをつねるので、あなたはただ、「アーメン！」と言います。

今日、交通手段と通信における日進月歩のあらゆる技術の進歩のゆえに、全地にいるアダムの種族のあらゆる民は、ほとんど一つになりました。…アメリカが何か新しいものを発表すると、香港や日本はすぐにそれに飛びつきます。これは宇宙的な古い人です。アダムの種族は今日、宇宙的な古い人となりました。この古い人のすべての構成要素は、その腐敗、邪悪、不潔、淫行、無秩序において同じです。

主の願いは、地上に一人の新しい人を持つことであるので、私たちはみな立ち上がって、キリストを私たちの団体的なパーソンとする必要があります。私たちがある決定をし、ある種の生活をしたくないなら、自分だけで決定することはできません。そうではなく、私たちは新しい人の中で、新しい人と共に、キリストを私たちのパーソンとしなければなりません。この要求は大きくて、高いのです。このようにして新しい人は成長し、円熟して、私たちは一人の完全に成長した人に到達します。

適用: 青少年・大学生編

昨年末、申命記の結晶の学びに大学生の4人の兄弟姉妹が全時間奉仕の姉妹と一緒に参加することが出

来ました。主を賛美します。その訓練集会には全地から五千人の兄弟姉妹が参加していました。この後、申命記の12メッセージは朝毎の食物に編集され、様々な言語に訳され、全地ではほぼ同じ時期に申命記を追求して、同じことを語ります。それは一人の新しい人の召会生活を実行するためです。

今回参加した学生たちは、英語を使って交わることに少し成長することができたと思います。新しい人の出現のための最大の障壁は、文化による隔てであり、文化の障壁の大きな部分は言語の問題です。英語で海外の兄弟姉妹とコミュニケーションすることができれば、障壁を乗り越えることに役立ちます。これからの若者たちは、是非、英語と中国語を学んでください。さらに、韓国語などを学ぶことが出来れば素晴らしいです。最近、アフリカのナイジェリアからの一家族4人が召会生活に入ってきました。この家族との交わりにおいても、英語を話す兄弟姉妹がよく機能しています。一人の新しい人の感覚を持って召会生活を実行するために、私たちは中国語や韓国語の兄弟姉妹だけでなく、アフリカからの兄弟姉妹たちが必要です。

さらに、あなたは一人の新しい人の感覚を持って、あなたを導いている兄弟姉妹やあなたのパートナーに開いて、オープン・マインドで、ゼロ・ベースで交わることを訓練してください。あなたを導いている兄弟姉妹は、多くの失敗を通して主の中で学んできているので、あなたに的確なアドバイスをすることができます。心を開いて、自分の観念を下ろして交わる如果能够できれば、あなたは祝福されます。一人の新しい人の感覚を持っている人は、決して単独で何も決めません。

兄弟の証し:私は大学4年生の時に、卒業後、就職することを検討していましたが、指導教授である兄弟や、大学の先輩の兄弟姉妹との交わりによって、進学することに変更しました。その時に、「神戸女子薬科大学の大学院は共学なので検討してはどうか」という交わりがありました。私はそのことを聞いた時、とても不愉快になりました。私は、「なんで女子大に推薦されるのか？ 私はバカにされているのではないか？」と考えていましたが、主に照らされて悔い改めました。悔い改めないでオープン・マインドで交わることをできないので、交わりが通じなくなってしまいます。結局、女子大ではなく、他の大学に進学することになりましたが、この経験はオープン・マインドを持って交わることを訓練することで役に立ちました。主の環境上のアレンジメントによる訓練を感謝します。

祈り:「おお主イエスよ、一人の新しい人の召会生活には、一つの口があり、一つのパーソンがあります。私たちは皆、文化的背景から出てきてキリストの中に入り、一を保って、一人の新しい人を現し出します。このために、私たちが若い時に英語と中国語(中国語の留学生は日本語と英語)を学ぶことができますように。アーメン！」

人生の奥義(2): 人の悲惨な状況:「憂い」

- A. 「打ちひしがれた霊は骨を枯らす」(箴言 17:22b)。
- B. 「ああ、わが魂よ、なぜうなだれているのか？ なぜ私の内で思い乱れるのか？ 神を待ち望め」(詩 42:11)。
- C. 「圧迫されている(粉々に砕かれた)人たちを解放して去らせ」(ルカ 4:18 FN7)。
- D. 「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。あらゆることで感謝しなさい」一神は、私たちが喜び、祈り、感謝する生活をするを願われます。そのような生活は、神にとって栄光であり、彼の敵に対しては恥辱です (I テサロニケ 5:16-18a FN2)。